

平成30年3月期 第2四半期決算短信[日本基準](連結)

平成29年11月6日

上場会社名 ソーダニッカ株式会社 コード番号 8158 URL <u>http:/</u> URL http://www.sodanikka.co.jp/

(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 長洲 崇彦 問合せ先責任者(役職名)執行役員経理部門長 (氏名) 安江 正人 TEL 03-3245-1803 配当支払開始予定日

四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無

上場取引所

平成29年12月1日

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日~平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(1) 連結経営成績(累計)						(9	%表示は、対前年同	四半期増減率)
	 売上 	高	営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	47,007	2.3	536	15.5	657	19.1	421	11.1
29年3月期第2四半期	45,960	△5.5	464	△34.5	552	△32.6	379	△27.4

(注)包括利益 30年3月期第2四半期 1,377百万円 (353.3%) 29年3月期第2四半期 303百万円 (38.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	16.90	_
29年3月期第2四半期	15.21	_

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	61,787	23,636	38.3
29年3月期	54,790	22,433	40.9

30年3月期第2四半期 23,636百万円 29年3月期 22,433百万円 (参考)自己資本

2. 配当の状況

	年間配当金						
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計		
	円 銭	円銭	円 銭	円 銭	円銭		
29年3月期	_	7.00		7.00	14.00		
30年3月期	<u> </u>	7.00					
30年3月期(予想)			_	7.00	14.00		

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年 3月期の連結業績予想(平成29年 4月 1日~平成30年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	売上高 営業利益 経常利益 親会社株 当其		営業利益		親会社株主(こ帰属する 利益	1株当たり当期 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
诵期	99.000	7.1	1.190	10.8	1.350	6.2	880	3.3	35.28

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 無新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無 ② ①以外の会計方針の変更 : 無 ③ 会計上の見積りの変更 : 無 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)30年3月期2Q25,168,000 株29年3月期25,168,000 株② 期末自己株式数30年3月期2Q226,175 株29年3月期226,110 株③ 期中平均株式数(四半期累計)30年3月期2Q24,941,882 株29年3月期2Q24,942,020 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)	
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出の回復や底堅い個人消費等により総じて回復 基調で推移しました。

当社グループに関係の深い化学工業界につきましても、国内生産や企業収益が堅調に推移しております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、中期経営計画「Go forward STAGE 1」の2年目に当たる事業年度として、事業領域・業種ごとにニーズを汲んだ提案営業を加速させるとともに、これまでと同じく中国・ASEAN 地域における海外取引の拡大、環境関連ビジネスの強化に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高470億7百万円(前年同期比2.3%増)、営業利益5億3千6百万円(同15.5%増)、経常利益6億5千7百万円(同19.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益4億2千1百万円(同11.1%増)となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

【化学品事業】

無機薬品につきましては、主力商品のか性ソーダは市況の回復及び取扱数量の増加により増収となりました。その他の商品では塩酸及びチタン化合物は増収となりましたが、活性炭及びアルミニウム化合物は減収となりました。

有機薬品につきましては、メタノール、その他の石油化学製品は市況の回復により増収となりましたが、高分子凝集剤は減収となりました。

この結果、化学品事業といたしましては、売上高は前年同期に比べ 4.0% 増の 340 億 1 千 8 百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期に比べ 5.2% 増の 10 億 6 千 9 百万円となりました。

【機能材事業】

包装材料につきましては、ナイロンフィルム及び複合フィルムを中心に総じて増収となりました。合成樹脂につきましては、ポリエチレン樹脂及びタンク類が増収となりましたが、高機能樹脂は減収となりました。

機器類につきましては、エレクトロニクス材料が増収となりましたが、機械器具設置工事及び電気関連機器は大型案件の減少により減収となりました。

この結果、機能材事業といたしましては、売上高は前年同期に比べ1.1%減の118億5千万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期に比べ16.8%減の3億2千2百万円となりました。

【その他事業】

その他事業につきましては、曹達日化商貿(上海)有限公司が減収となったことにより、売上高は前年同期に比べ 10.3%減の 11 億 3 千 7 百万円となりましたが、モリス株式会社が増益となったこと等により、セグメント利益(営業利益)は前年同期に比べ 394.0%増の 2 千 5 百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

【財政状態の分析】

当第2四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ69億9千6百万円増加いた しました。

増減の主なものは資産の部では、受取手形及び売掛金が35億5千6百万円、商品及び製品が12億7千5百万円、投資有価証券が13億9千1百万円それぞれ増加いたしました。負債の部では、支払手形及び買掛金が56億5千9百万円増加いたしました。純資産の部では、その他有価証券評価差額金が9億6千3百万円増加いたしました。

【キャッシュ・フローの状況】

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ7億9千7百万円増加し84億4千7百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは 10 億 5 千 7 百万円の増加となりました。これは税金等調整前四半期純利益が 6 億 5 千 7 百万円でありましたが、売上債権の増加が 35 億 7 千万円、仕入債務の増加が 56 億 6 千 1 百万円、棚卸資産の増加が 12 億 7 千 6 百万円となったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは4千5百万円の減少となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出2千6百万円、投資有価証券の取得による支出9百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは2億4百万円の減少となりました。これは主に、短期借入金の 返済による支出2千5百万円、配当金の支払額1億7千4百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の日本経済の見通しにつきましては、輸出や個人消費の底堅い推移により緩やかに回復するものと期待されます。その一方で、中国経済の動向や地政学的リスクに対する懸念もあり、予断を許さない状況となっております。

このような事業環境のもと、当社グループは引き続き化学品と機能材の二事業を基軸とする経営を推進するとともに、財務体質の強化と経営の効率化を図り、収益力の向上に向けて邁進する所存でございます。

平成30年3月期の通期業績予想につきましては、平成29年5月10日付公表の数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

		(単位:百万円)
	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7, 757	8, 558
受取手形及び売掛金	30, 645	34, 202
商品及び製品	2, 423	3, 698
繰延税金資産	116	106
その他	322	332
貸倒引当金	$\triangle 29$	$\triangle 33$
流動資産合計	41, 235	46, 864
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	506	485
車両運搬具 (純額)	9	10
土地	1, 087	1, 087
その他(純額)	158	140
有形固定資産合計	1, 762	1, 723
無形固定資産	56	46
投資その他の資産		
投資有価証券	11,003	12, 395
その他	772	795
貸倒引当金	$\triangle 40$	$\triangle 38$
投資その他の資産合計	11, 735	13, 153
固定資産合計	13, 555	14, 922
資産合計	54, 790	61, 787

(単位:百万円)

		(単位:日万円)
	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22, 838	28, 497
短期借入金	5, 073	5, 040
未払法人税等	223	257
賞与引当金	247	248
役員賞与引当金	18	15
その他	747	477
流動負債合計	29, 148	34, 536
固定負債		
繰延税金負債	1, 457	1,867
再評価に係る繰延税金負債	194	194
退職給付に係る負債	1,006	1,026
長期預り保証金	530	513
その他		15
固定負債合計	3, 209	3, 615
負債合計	32, 357	38, 151
純資産の部		
株主資本		
資本金	3, 762	3, 762
資本剰余金	3, 130	3, 130
利益剰余金	11, 211	11, 458
自己株式	△63	△64
株主資本合計	18, 040	18, 287
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4, 249	5, 212
繰延ヘッジ損益	△1	1
土地再評価差額金	148	148
為替換算調整勘定	68	54
退職給付に係る調整累計額	△71	△67
その他の包括利益累計額合計	4, 392	5, 348
純資産合計	22, 433	23, 636
負債純資産合計	54, 790	61, 787

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

		(単位:百万円)
	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日
	至 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	至 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
売上高	45, 960	47, 007
売上原価	42, 788	43, 788
売上総利益	3, 171	3, 218
販売費及び一般管理費	2, 707	2, 681
営業利益	464	536
営業外収益		
受取利息及び配当金	106	125
その他		18
営業外収益合計	135	144
営業外費用		
支払利息	21	18
売上割引	2	2
為替差損	18	-
その他	5	2
営業外費用合計	47	23
経常利益	552	657
特別利益		
負ののれん発生益	72	
特別利益合計	72	
特別損失		
段階取得に係る差損	23	-
固定資産除却損	14	
特別損失合計	38	
税金等調整前四半期純利益	586	657
法人税、住民税及び事業税	212	240
法人税等調整額	<u></u>	△3
法人税等合計	207	236
四半期純利益	379	421
非支配株主に帰属する四半期純利益	<u> </u>	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	379	421

四半期連結包括利益計算書 第2四半期連結累計期間

		(単位:百万円)
	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	379	421
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	26	963
繰延ヘッジ損益	$\triangle 1$	2
為替換算調整勘定	△104	△14
退職給付に係る調整額	3	4
その他の包括利益合計	<u> </u>	955
四半期包括利益	303	1, 377
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	303	1, 377
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

		(単位:百万円)
	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	586	657
減価償却費	63	58
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2	2
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	9	25
受取利息及び受取配当金	△106	$\triangle 125$
支払利息	21	18
有形固定資産除却損	14	0
売上債権の増減額(△は増加)	562	△3, 570
たな卸資産の増減額 (△は増加)	$\triangle 446$	$\triangle 1,276$
仕入債務の増減額 (△は減少)	342	5, 661
負ののれん発生益	$\triangle 72$	-
段階取得に係る差損益(△は益)	23	-
その他	346	△304
小計	1, 348	1, 145
利息及び配当金の受取額	106	125
利息の支払額	△24	$\triangle 21$
法人税等の支払額	△178	△191
営業活動によるキャッシュ・フロー	1, 252	1, 057
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△105	$\triangle 26$
無形固定資産の取得による支出	△8	$\triangle 2$
投資有価証券の取得による支出	△8	$\triangle 9$
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得によ る支出	$\triangle 4$	-
敷金及び保証金の差入による支出	$\triangle 1$	△10
敷金及び保証金の回収による収入	1	2
その他	△14	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△143	$\triangle 45$
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△204	$\triangle 25$
配当金の支払額	△174	△174
その他	<u>\</u>	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△380	△204
現金及び現金同等物に係る換算差額	△48	△8
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	679	797
現金及び現金同等物の期首残高	6, 877	7, 649
現金及び現金同等物の四半期末残高	7, 557	8, 447

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日) 該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日) 該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報	告セグメン	١		調整額	四半期連結損益
	化学品 事業	機能材 事業	その他 事業	合計 (注)1		計算書計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	32, 709	11, 983	1, 267	45, 960	_	45, 960
セグメント間の内部 売上高又は振替高	ĺ		1,001	1,001	△ 1,001	_
計	32, 709	11, 983	2, 268	46, 961	△ 1,001	45, 960
セグメント利益	1, 017	388	5	1, 410	△ 945	464

- (注) 1. セグメント利益の調整額△945 百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - 2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益
	化学品 事業	機能材 事業	その他 事業	合計	純金領 (注)1	計算書計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	34, 018	11, 850	1, 137	47, 007	_	47, 007
セグメント間の内部 売上高又は振替高			1, 043	1, 043	△ 1,043	_
計	34, 018	11,850	2, 180	48, 050	△ 1,043	47, 007
セグメント利益	1,069	322	25	1, 418	△ 881	536

- (注) 1. セグメント利益の調整額△881 百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - 2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。